



2019年5月10日

各位

会社名 株式会社ブレインパッド
代表者名 代表取締役社長 佐藤 清之輔
(コード番号:3655 東証第一部)
問合せ先 取締役 石川 耕
(TEL. 03-6721-7701)

次期中期経営計画の概要に関するお知らせ

当社は、2019年5月10日開催の取締役会において、2020年6月期を始期とする次期中期経営計画（4年間）の方針を決議いたしましたので、下記の通り、その概要をお知らせいたします。

記

当社は、当連結会計年度にて最終年度を迎える現・中期経営計画（2016年6月期～2019年6月期の4年間）において、経営戦略として掲げた長期・大型案件の拡大を実現し、組織・売上規模のみならず、利益額および利益率においても大きな成長を達成できる見通しです(※)。

当社が事業展開するデータ活用関連市場は大きな成長が予想される一方で、事業環境の変化および他社の参入等により、今後ますます変化と競争が増していくことが予想されます。

その中で当社は、これまで構築してきた経営基盤および業界内でのレピュテーションを活かしつつ、さらなる飛躍を期すために、次期中期経営計画（2020年6月期～2023年6月期の4年間）を策定いたしました。その概要は、以下の通りです。

(※)当連結会計年度の最新の業績予想は、本日公表の「2019年6月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

【ブレインパッド次期中期経営計画の概要】

1. 事業環境の前提

- データ活用関連ビジネスを取り巻く市場（AI、データアナリティクス、デジタルマーケティング等）は、周辺領域を巻き込みながら、年率20%を超える成長を続けるものと認識。
- 市場の拡大が見込まれることから、新興企業および隣接業界からの参入も想定される中、データ活用を支援する人材・人的サービスへの需要は、今後も継続して高まっていく。

2. 次期中期経営計画の方針

1. ビジネスにインパクトを与える、先進的で実践的なデータ活用の実績を増やすため、データ活用に必要な総合力を提供・発揮していく体制の強化
2. データ活用に必要な人的サービス、ソリューション提供需要に応えるための多様な人材の採用・育成を含む組織規模の拡大
3. 先進的な技術を用いたデータ活用を加速するために、自社での R&D は当然として、国内外 Tech 企業との業務提携・投資等による連携の強化

3. 次期中期経営計画の経営目標（連結）

	今期業績予想 (2019年6月期)	次期中計最終年度 (2023年6月期)	成長率
売上高	5,650百万円	11,500百万円	CAGR 19.4%
経常利益	1,150百万円	2,000百万円	CAGR 14.8%
経常利益率	20.4%	17.4%	—
ROE	現・中計4年間の 平均ROE 18%前後	次期中計4年間の 平均ROE 20%前後	—
従業員数	302~318名	580名~650名	4年間で約2倍

※上記経営目標に、後述するM&A等の投資による影響は織り込んでおりません。

4. 資本政策

■ 投資（M&Aを含む）の考え方

- 既存事業のオーガニック成長を加速させるような、人材獲得目的のM&Aを検討
- 先進技術の調査・実用化目的の投資・M&Aについても、中長期の成長に資するものとして検討
- 当初は、投資・M&A推進の専門人材の設置も視野に、リサーチおよび検討に注力

■ 株主還元の方向性

- 上記の投資をはじめ、事業成長のために資本を有効活用することが、株主の皆様から期待される企業価値向上のための最優先課題であると認識
- しかし、資本の有効活用が進まない場合には、ROEの不用意な低下を避ける観点でも、自社株買い、配当などの株主還元を検討していく

その他、事業戦略等の詳細は、添付資料をご参照ください。

以上

次期中期経営計画 (2020年6月期～2023年6月期の4年間) の概要について

株式会社ブレインパッド
2019年5月10日

ブレインパッドのミッション、中期ビジョン

MISSION 創業来変わらぬ使命

データ活用の促進を通じて持続可能な未来をつくる

Corporate Vision 次期中計において目指す姿

Analytics Innovation Company

ビジネス・顧客体験・オペレーションにおいて先進的で実践的なデータ活用の実績を生み出し続け、世の中にインパクトを与えるデータ資本社会のリーディングカンパニー

次期中期経営計画の基本方針

次期中計における事業環境の前提

- データ活用関連ビジネスを取り巻く市場（AI、データアナリティクス、デジタルマーケティング等）は、周辺領域を巻き込みながら、年率20%を超える成長を続けるものと認識。（*1）
- 市場の拡大が見込まれることから、新興企業および隣接業界からの参入も想定される中、データ活用を支援する人材・人的サービスへの需要は、今後も継続して高まっていく。

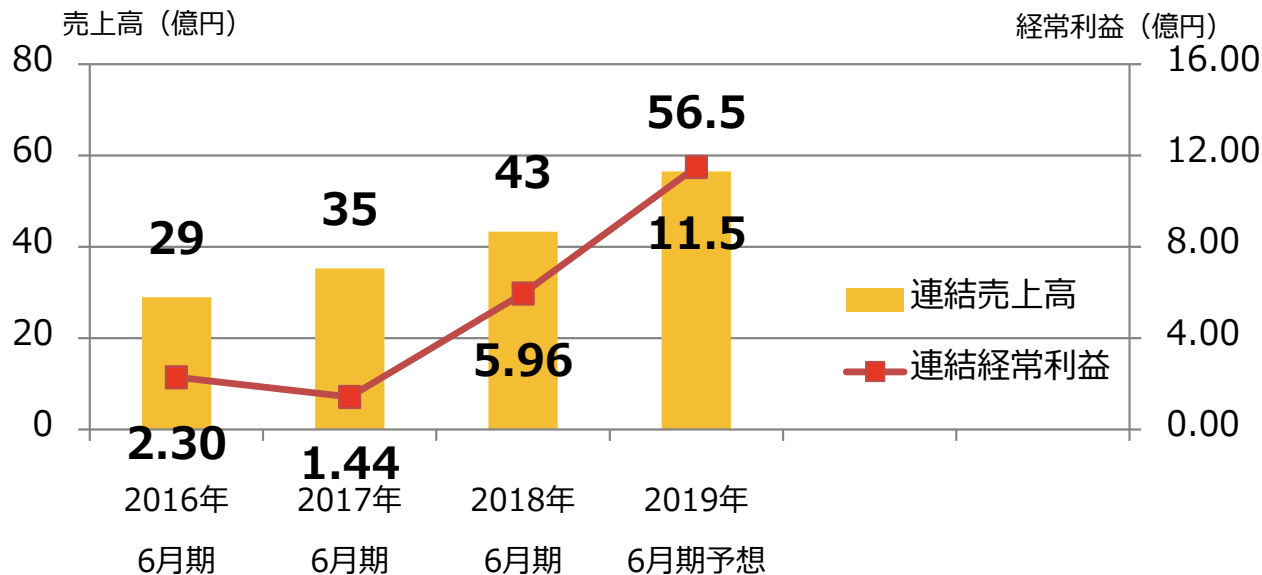
次期中期経営計画の基本方針

- 1 ビジネスにインパクトを与える、先進的で実践的なデータ活用の実績を増やすため、データ活用に必要な総合力を提供・発揮していく体制の強化
- 2 データ活用に必要な人的サービス、ソリューション提供需要に応えるための多様な人材の採用・育成を含む組織規模の拡大 ※当社に必要な多様な人材は後述
- 3 先進的な技術を用いたデータ活用を加速するために、自社でのR&Dは当然として、国内外Tech企業との業務提携・投資等による連携の強化

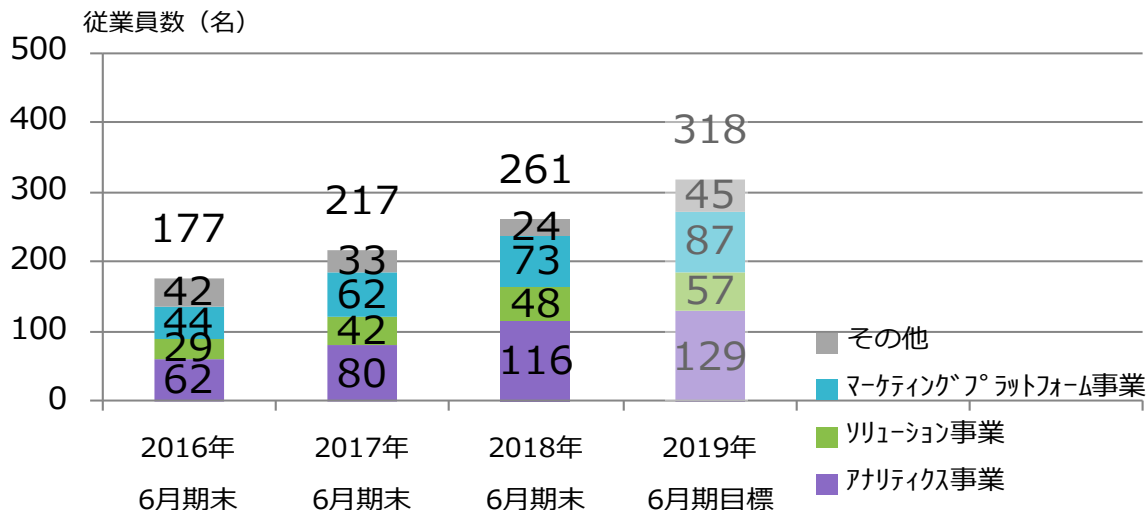
(*1) 参考文献：2019/3月 ㈱富士キメラ総研「2019人工知能ビジネス総調査」、2018/12月 ㈱ミック経済研究所「ビジネス・アナリティクス市場展望 2019年版」
2019/2月「ITR Market View：メール/Webマーケティング市場2019」、「ITR Market View：SFA/統合型マーケティング支援市場2019」

<参考>

現・中期経営計画の進捗（連結業績・単体従業員数）



前半2年間は利益成長が限定的となったが、積極採用による組織拡大と社員の育成・戦力化、案件の長期・大型化に注力し続けたことにより、後半2年間は、利益額・利益率ともに大きく改善。



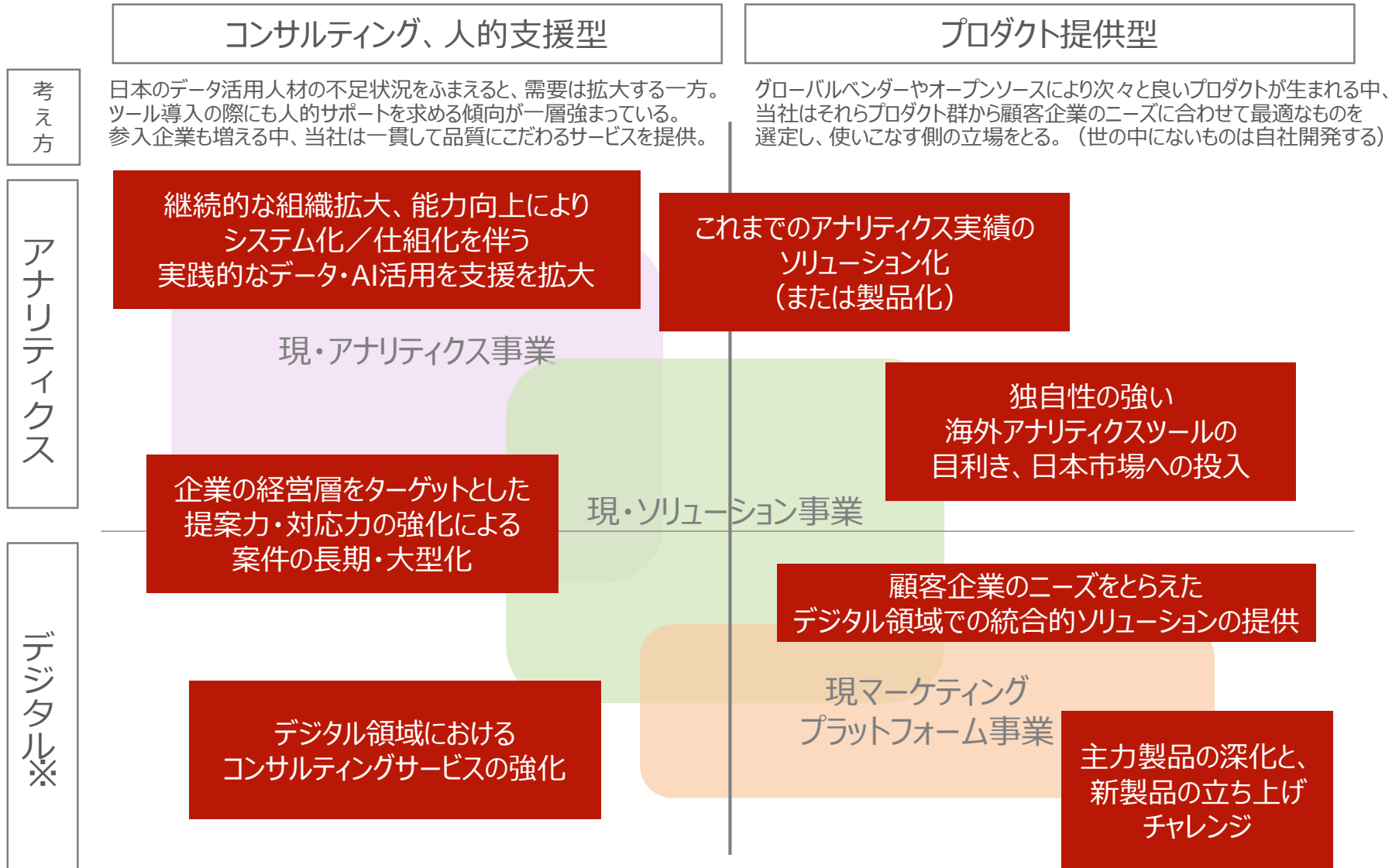
次期中期経営計画の経営目標（連結）

単位：百万円

	今期業績予想 (2019年6月期)	次期中計最終年度 (2023年6月期)	成長率
売上高	5,650	11,500	CAGR 19.4%
経常利益	1,150	2,000	CAGR 14.8%
経常利益率	20.4%	17.4%	—
ROE	現中計4年間の平均ROE 18%前後	次期中計4年間の平均ROE 20%程度	—
従業員数	302～318名	580～650名	4年間で約2倍の 規模を目指す

※上記経営目標に、後述するM&A等の投資による影響は織り込んでおりません。

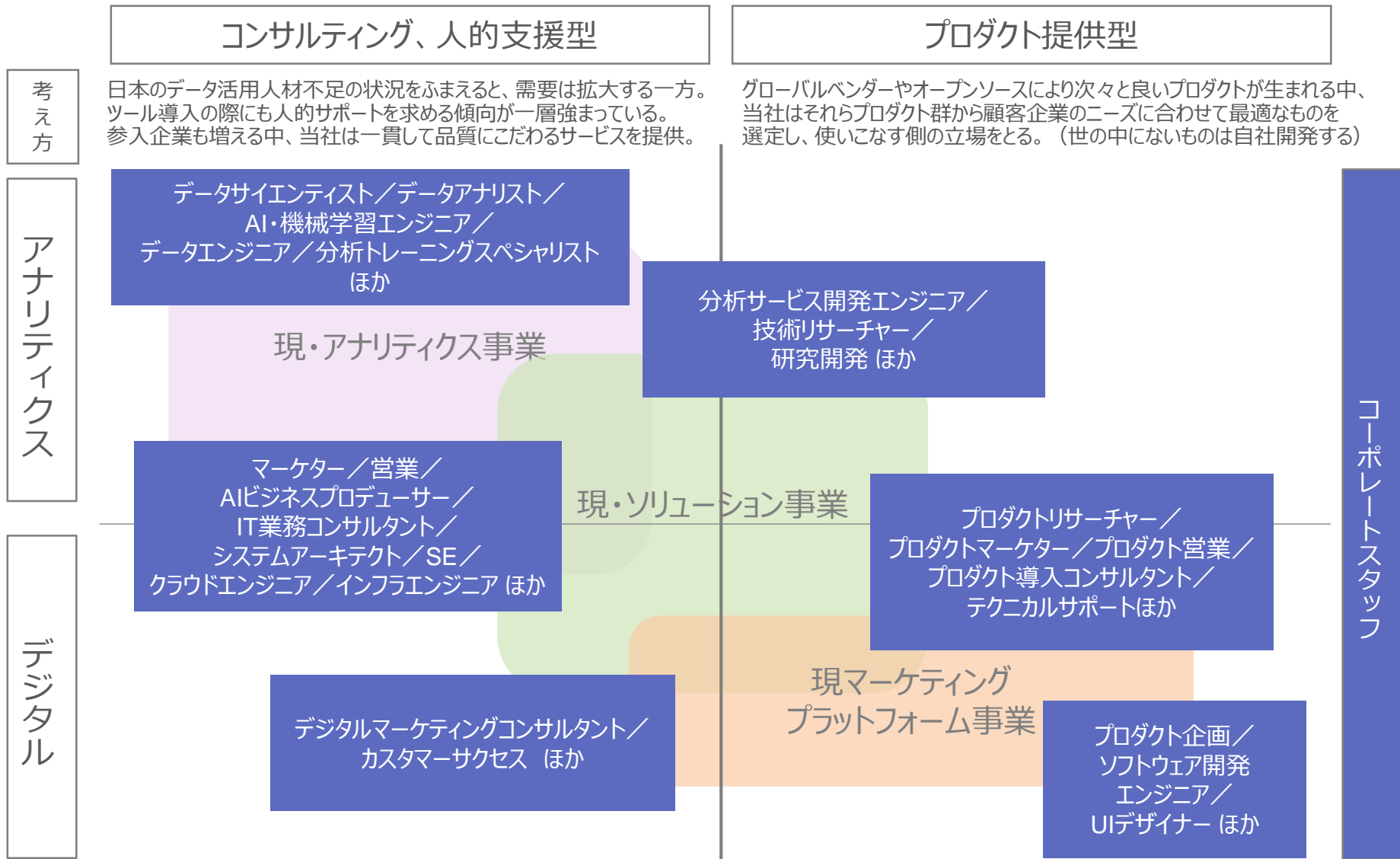
事業戦略：インパクトを生み出すデータ活用の総合力を磨く



※デジタル：デジタルトランスフォーメーション（DX）と呼ばれる領域の中でも、これまでWebマーケティングと呼ばれていた、デジタルマーケティングへの改革・支援を中核とした領域

人材戦略

: データ活用の総合力を支える多様なプロフェッショナル人材を拡充



資本政策：投資（M&Aを含む）および株主還元の方向性

1 投資（M&Aを含む）の考え方

- 既存ビジネスのオーガニック成長を加速させるような、人材獲得目的のM&Aを検討
- 先進技術の調査・実用化目的の投資・M&Aについても、中長期の成長に資するものとして検討 ※社外への投資以外にも、合理性のある範囲で社内における先進技術の実用化、新プロダクト開発も検討・実施
- 当初は、投資・M&A推進の専門人材の設置も視野に、リサーチおよび検討に注力

2 株主還元の方向性

- 上記の投資をはじめ、事業成長のために資本を有効活用することが、株主の皆様から期待される企業価値向上のための最優先課題であると認識
- しかし、資本の有効活用が進まない場合には、ROEの不用意な低下を避ける観点でも、自社株買い、配当などの株主還元を検討していく

来期（次期中計初年度）の業績見通し

来期（2020年6月期、次期中計初年度）の業績予想数値は、本年8月の本決算発表時に、公表予定。

ただし、以下の理由から、売上高の成長は維持しつつも、利益成長は限定的となる見通し。
(売上高は10%超の成長を目指すものの20%までの成長には至らない可能性や、利益額が今期と同程度の水準となる可能性も含め、現在精査中)

【売上成長がやや鈍化し、利益成長が限定的となる主因】

- 1 人材採用・育成への
リソース配分増加
- 2 給与体系の見直し
と組織再編
- 3 オフィス環境への投資

データ活用領域の人材獲得競争の激化から、現・中計期間においても、当社が必要とする人材確保が遅れている部分がある。その遅れを取り戻すべく、人材採用・育成に人的・金銭的なリソース配分を増やしていく計画を立案中。

退職率は低下傾向だが、既存社員のリテンションと採用効率改善の両面において、インセンティブプランを含む給与体系の見直しが必要。また、総合力をより発揮させるための組織再編にも着手していく。

次期中計における増員を見据え、オフィスの増床をはじめ、ファシリティ関連費用の増加を見込む。



株式会社ブレインパッド

〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル

TEL : 03-6721-7701 (IR直通) FAX : 03-6721-7010

www.brainpad.co.jp ir@brainpad.co.jp

本資料に記載されている戦略や計画、見通しなどは、過去の事実を除いて予測であり、現時点において入手可能な情報に依拠し判断された一定の前提条件に基づいております。従って、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは乖離する場合があります。ご承知おきください。また、グラフ内の数値は端数処理により総和が短信等で開示している合計額と一致しない場合があります。

本資料における情報は、本資料が作成された時点のものです。将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に記載された会社名・商品名・ロゴは、それぞれ各社の商標または登録商標です。